

建物概要

■構造 木造2階建本瓦葺

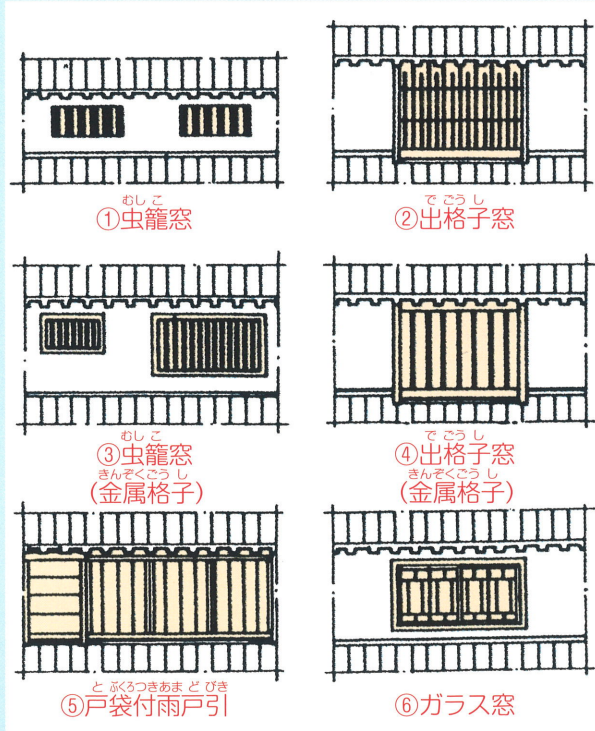
■延床面積/1階: 96.53㎡

2階: 68.83㎡ 合計: 165.36㎡

龍野の町家 2階の窓の分類

龍野の町家の2階の窓については、次の6種類に分類されます。

- ① 虫籠窓 漆喰で塗籠られた窓のことで、最も古い形式です。
- ② 出格子窓 外へ張り出して作ってある格子付きの窓で、19世紀初期に現れています。
- ③ 金属格子を用いた虫籠窓
- ④ 金属格子をはめ込んだ出格子窓
- ⑤ 戸袋付雨戸引 明治初期から用いられたと考えられます。
- ⑥ ガラス窓 ガラスを亀の甲状に組み合わせたガラス窓の採用は大正に入ってからのことです。



利用案内

■開館時間 午前10時～午後4時

■休館日 月曜日(祝日と重なった場合は翌日)

祝日の翌日

年末年始(12月29日～1月3日)

その他、臨時休館あり

■入館料 無料

■所在地 たつの市龍野町上川原98番地

TEL 0791-62-5155

アクセス



●JR姫新線「本竜野駅」で下車、徒歩約15分

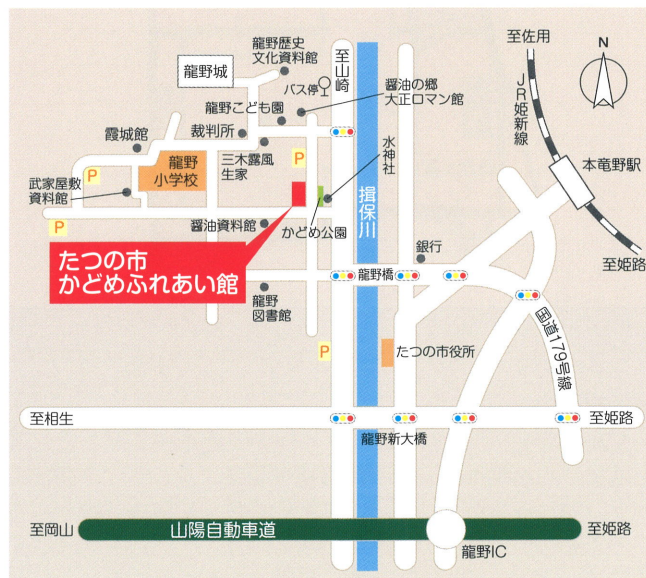
●JR山陽本線「竜野駅」で下車、タクシーで約15分



●山陽自動車道「龍野IC」より、国道179号を北へ約10分

●国道2号太子・竜野バイパス「福田ランプ」より、
国道179号を北へ約10分

●中国自動車道「山崎IC」より、県道26号を経て
国道179号を南へ約30分



■編集・発行 たつの市都市政策部まちづくり推進課

〒679-4192

兵庫県たつの市龍野町富永1005-1

☎0791-64-3167(直通)

たつの市 かどめふれあい館



〒679-4172

兵庫県たつの市龍野町上川原98番

☎0791-62-5155

かどめふれあい館概要

■かどめふれあい館の復原と公開

龍野地区には、18世紀中期から昭和初期までの、約250年間にわたる町家が残っており、それらが多彩な様式をもっていることが大きな魅力です。かどめふれあい館の復原に当たっては、明治期に建てられた町家の特徴である金属製の丸格子を踏襲するなど、龍野の文明開化を感じさせる要素を取り入れています。

かどめふれあい館は、地域交流やまちづくり学習の場として活用されることを目的とするとともに、町並み保存に関する資料の公開を行っています。

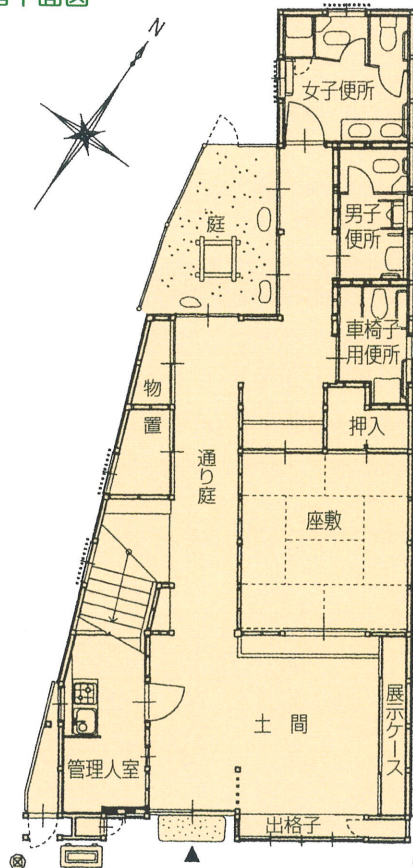
■建物のあゆみと特徴

龍野町上川原の通称「かどめ」一帯は、穏やかに湾曲して町家が立ち並ぶため、町家の敷地が台形になっていますが、居室に合わせて土間(通り庭)の形を調整し、一般的な間取りを確保するように工夫されています。

かどめふれあい館は、明治後期に建てられた町家を、現在地で原形に沿って再建したものです。元の町家は、「西播金融」の店舗として使用されていましたが、それ以前のこととは不明です。外観を特徴づける2階の金属製の格子や黒漆喰の塗り壁は、いずれも龍野の明治期の町家に多く用いられた形式です。その大胆な意匠は目立ちますが、当初の形状を忠実に再現したもので、明治期の商家の華やかな表構えの一端がうかがえます。1階は、元々は左端の戸袋から板戸を右端まで引き出す、いたって開放的な表構えでした。この形式も龍野の町家に特有なものであり、広い店先には、間口いっぱいにはわたされた暖簾がたなびいていたことでしょう。

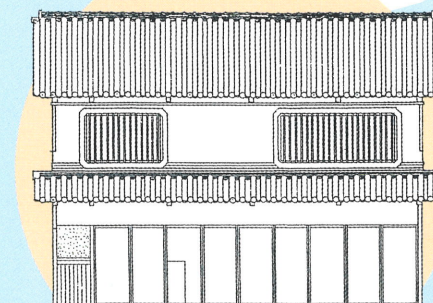
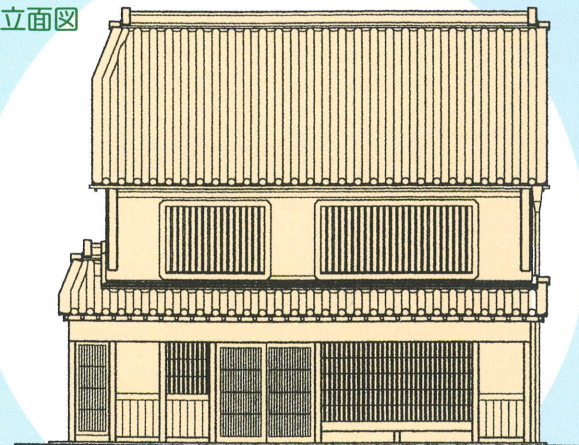
かどめふれあい館

■1階平面図



かどめふれあい館

■立面図



《監修》
京府立大学
教授 大場 修
(現 立命館大学 教授)

旧建物復原立面図

■復原に当たって

1階の間取りの基本構成は、当初の平面形式を基本として土間まわりと裏手に必要な諸機能を配置しました。下屋庇の軒下にわたされた太い桁は、当初の表構えの形式を踏襲したものであり、伝統的な町家に特有の木部の色付けを再現しています。2階は、交流活動等に利用できるように新しくレイアウトしていますが、外観については、金属製の格子を用いた虫籠窓に黒漆喰、軒裏の出桁など、元の町家の姿を復原することで、明治期の町家の堂々たる表構えを再現しています。

また、1階の土間、通り庭については、可能な限り段差のない造りとしています。

